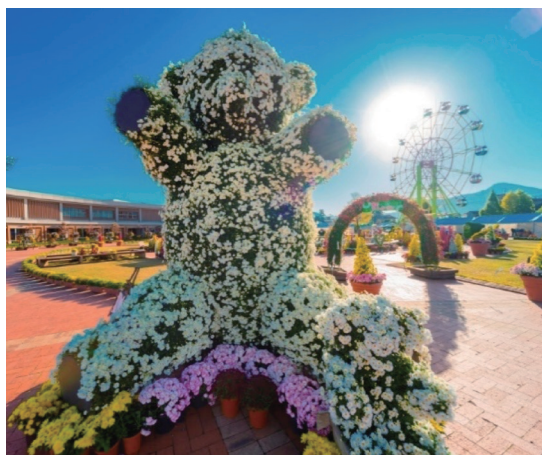


越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのまち「武生」
～全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち～

第3期越前市中心市街地活性化基本計画 (概要版)



平成28年12月
(平成28年11月29日認定)

越 前 市

1 第3期越前市中心市街地活性化基本計画の策定について

1 計画策定の背景

第2期越前市中心市街地活性化基本計画以降、市役所本庁舎の現在地での建設が決定し、庁舎建設計画が進行するとともに、平成30年福井国体開催を見据えた武生中央公園の再整備が進められています。一方、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業が当初計画より3年前倒しの平成35年春となるなど、中心市街地に多大な影響を与える事業が動き始めており、中心市街地活性化への取組みは急務となっています。

このような状況を受け、現在進行中の第2期計画を、より具体的な実効性を確保した計画とするため、これらの中心市街地を取り巻く内容を計画に反映させ、第3期計画として策定を行うものです。



新庁舎の完成イメージ



新体育館の完成イメージ

期間	第1期計画 平成19年11月～平成25年3月	第2期計画 平成25年4月～平成30年3月	第3期計画 平成28年12月～平成34年3月
位置づけ	長期的な空洞化に歯止め、活性化に向けた足固め	これまでの基盤を活かした活性化の継続・発展	市役所本庁舎の現在地での建設や武生中央公園の再整備など半世紀に一度のまちづくりと、まちづくり会社などの取組みによる活力ある中心市街地の創出

2 計画の期間と区域

■計画期間

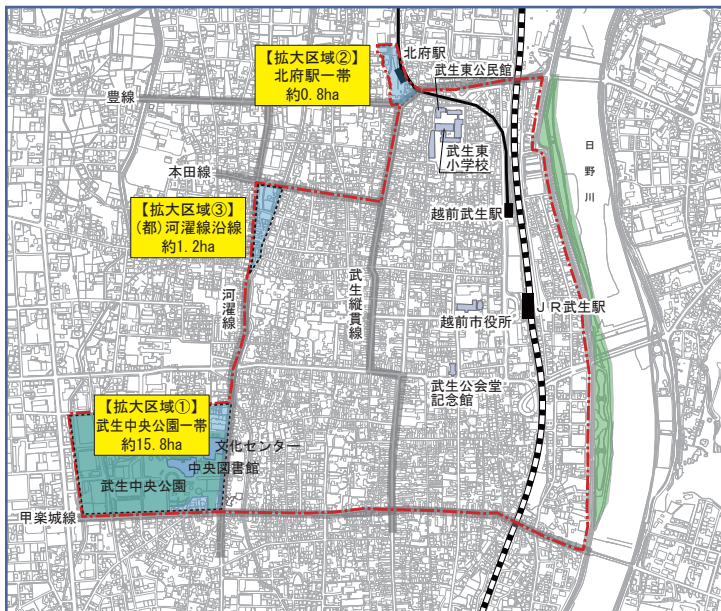
平成28年12月～平成34年3月
(5年4ヵ月)

■区域

JR武生駅周辺の140.8ha

※第3期計画では、中心市街地の隣接地において、中心市街地の活性化に資する事業が実施・計画されていることから、第2期計画の123haに3ヶ所の隣接地を加えた約140.8haを、新たな中心市街地の区域として設定します。

区域図



2 第2期計画の検証

第2期計画の概要

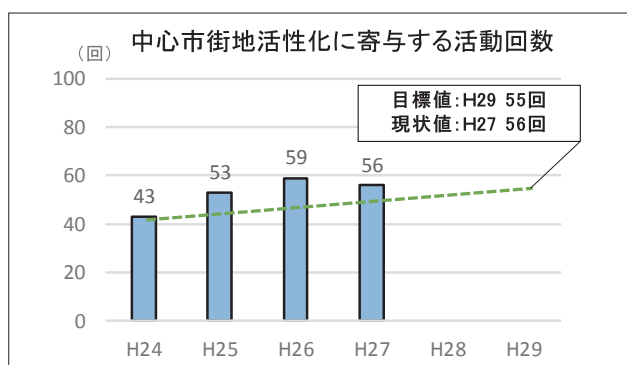
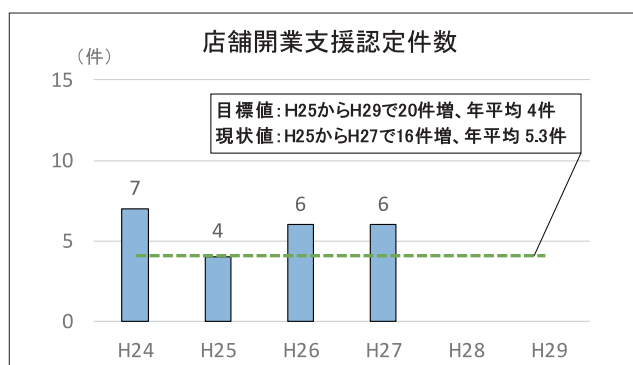
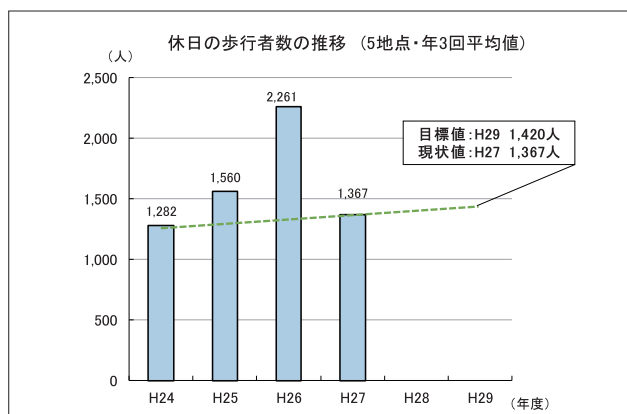
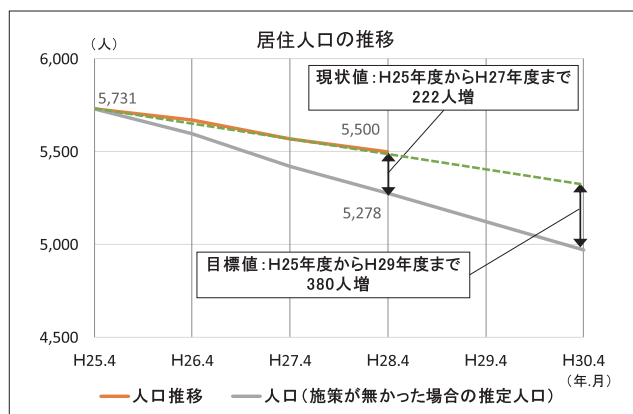
■ 計画期間：平成25年4月～平成30年3月(5年)

■ 中心市街地活性化の目標：①まちなか居住の推進 ②まちなか賑わい創出 ③地域住民の参画推進

○ 第2期計画開始後3年を経過した平成27年度末の数値目標の実績は、以下の通りであり、概ね順調に推移しています。

【各目標における数値目標】

目標	数値目標	目標値
目標① まちなか居住の推進	施策による人口増加数	平成25年度から平成29年度まで 380人増(76人/年)
目標② まちなか賑わい創出	休日の歩行者通行量	平成29年度：1,420人
	店舗開業支援認定件数	平成25年度から平成29年度まで 20件増(4件/年)
目標③ 地域住民の参画推進	中心市街地活性化に寄与する活動回数	平成29年度：55回



【各目標における検証と課題】

目標	検証と課題
目標① まちなか居住の推進	・家賃補助等の制度を充実し、若い世代の居住推進を図ったことで成果が見られます。今後も定住に向けた取組みを継続することが必要です。
目標② まちなか賑わい創出	・蔵の辻等でのイベント開催や様々な施策により、休日の歩行者数や店舗開業支援認定件数について目標値を達成しています。引き続き、日常的な賑わいを含めた対策が必要です。
目標③ 地域住民の参画推進	・地域住民等が主体となったイベントや活動等を通して参画と協働が図られ、目標値を達成しました。今後、活動団体の増加や担い手の育成等の取組みも必要です。

3 第3期計画の概要

1 中心市街地活性化の課題

- 1-1 都市施設の機能減退に伴う中心市街地の求心力低下
- 1-2 歴史文化を活かした“まちの顔”としての美しい街への再生
- 2-1 若い世代等を中心とした定住促進
- 2-2 誰もが健康で安心して暮らせるまちづくり
- 3-1 にぎわいの創出と商業の再生
- 3-2 広域からの来訪者を誘引するまちなか観光の推進

2 中心市街地活性化の将来像

越前国府1300年の歴史と文化が薫る安らぎのまち「武生」

～全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち～

本市の礎を築いた『越前国府1300年の歴史と文化』は、越前市民の誇りと地域性を醸成するかけがえのない貴重な財産であるとともに、過去の遺産ではなく、時代を超えて未来永劫にわたって“共生”すべき、“市民に身近な地域資源”であると言えます。今後の中心市街地の活性化推進にあたっては、『越前国府の歴史と文化』を活かすことにより、『全ての世代が共に支え合い、住み・働き・交流するまち』の形成を目指します。

3 中心市街地活性化の3つのテーマと6つの基本方針、数値目標

「中心市街地の将来像」の実現を目指して、今後、新庁舎の建設などを契機にした半世紀に一度のまちづくりに取り組みます。その際、『越前国府の歴史と文化』を活かしつつ、「まちの顔づくり」、「暮らしの再生」、「にぎわいの再生」の3つのテーマと、これに基づく6つの基本方針に沿った多様な施策を推進し、活力ある中心市街地の創出を目指します。

■ 中心市街地活性化の

3つのテーマ

テーマ1

まちの顔づくり

新庁舎の建設等を契機に、市民との協働による“まちの顔づくり”を進めます。

テーマ2

暮らしの再生

誰もが健康で安心していきいきと暮らせるまちづくりを推進し、“暮らしの再生”を目指します。

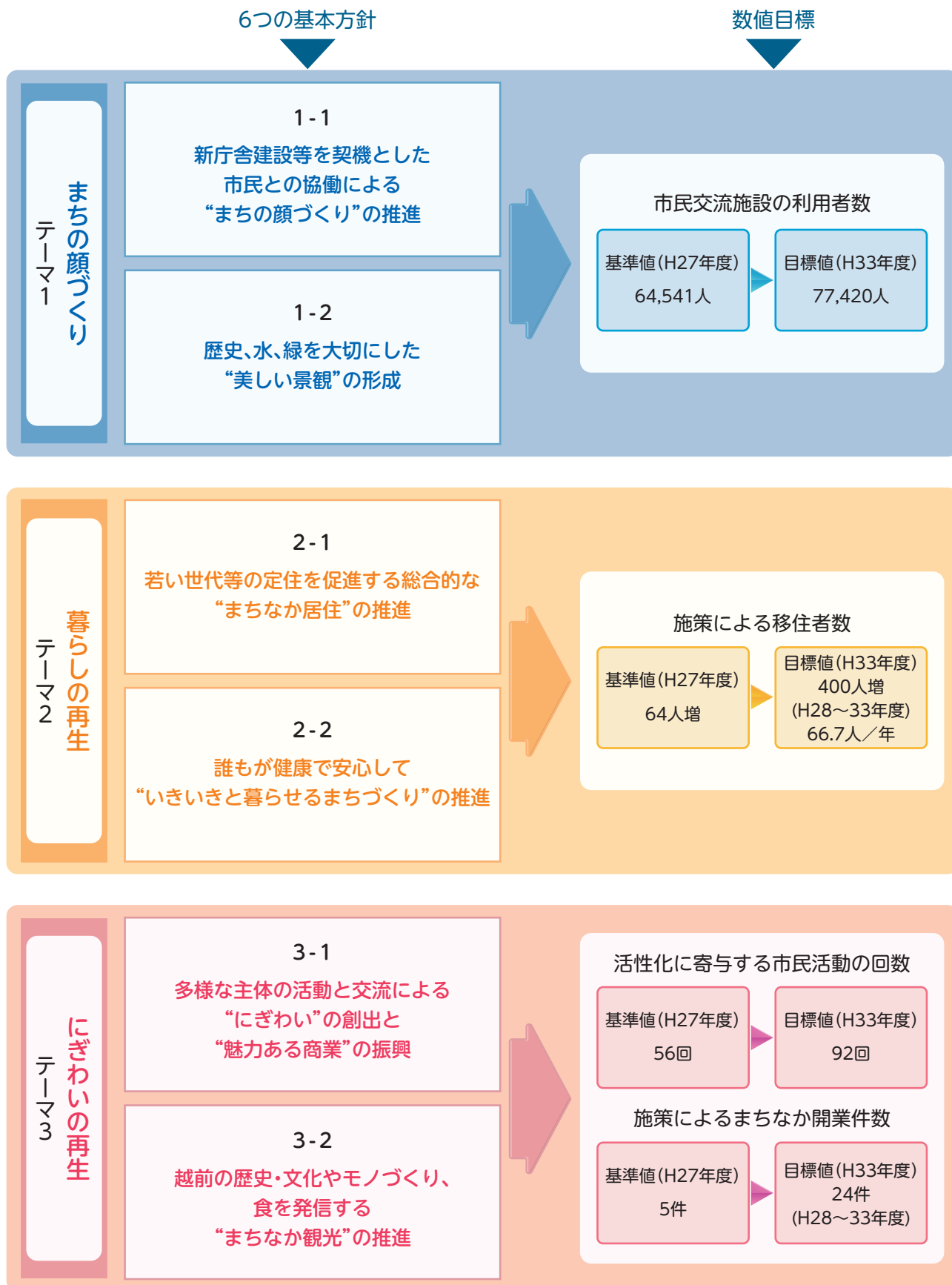
テーマ3

にぎわいの再生

住民や商業者、市民団体、学生、まちづくり会社などの連携・交流により、“にぎわいの再生”を目指します。

【6つの基本方針と数値目標】

中心市街地活性化の3つのテーマの達成状況を的確に把握するために、下記の6つの基本方針と数値目標を設定します。



3 第3期計画の概要

4 目標達成のための戦略

戦略1 新庁舎の建設等を契機とした、中心市街地の都市構造の再構築

新庁舎の建設をはじめ武生中央公園の再整備など、複数の都市拠点施設の整備が計画されています。これらの事業を契機に、武生中央線のシンボルロード化や周辺道路の整備など都市構造の整備を総合的に推進し、市民が安心して快適に暮らし、来訪者にも誇れる中心市街地の都市機能に再構築します。



左から
新庁舎イメージ
北府駅
武生中央線

<期待する効果>

- ①まちに対する市民の愛着・誇りの醸成と、来訪者にも誇れるまちの顔づくり
- ②市民が快適に暮らすことができ、都市拠点施設間を繋ぐ安全・安心なネットワークづくり

戦略2 まちづくり会社の設立を契機とした、多様な主体の連携による多彩なまちづくりの展開

平成27年4月に設立された「まちづくり武生(株)」は、「地域の新しいつながりをつくり、まちの魅力を高め、次世代に“まち”を継承していく」ことを理念に、中心市街地のまちづくりをサポートしています。

これまで取り組んできた空き地・空き家の活用に加え、住民・商業者・市民団体・大学との連携など、多様な主体と連携した事業を展開します。



市民参加型まちづくりワークショップ

<期待する効果>

- ①中心市街地の最重点課題の一つである空き地・空き家の活用の推進
- ②地域の新しいつながりづくりの推進による、まちづくりに参画する市民の拡大
- ③商業施設等の既存ストックを活かした商業の再生

戦略3 北陸新幹線南越駅(仮称)の開業効果を中心市街地に波及させる戦略的施策の展開

平成35年春に予定されている北陸新幹線金沢・敦賀間の開業は、本市の地域振興に大きく貢献する効果が期待されます。一方、観光客を中心に、これまでJR武生駅を利用していた広域圏からの来訪者の多くが、開業後は南越駅(仮称)を利用することが予想されます。

よって新幹線の開業効果を最大限、中心市街地に波及させるため、南越駅(仮称)から約3km離れた中心市街地に誘引する施策を、観光・商業関係者が連携して戦略的に展開します。

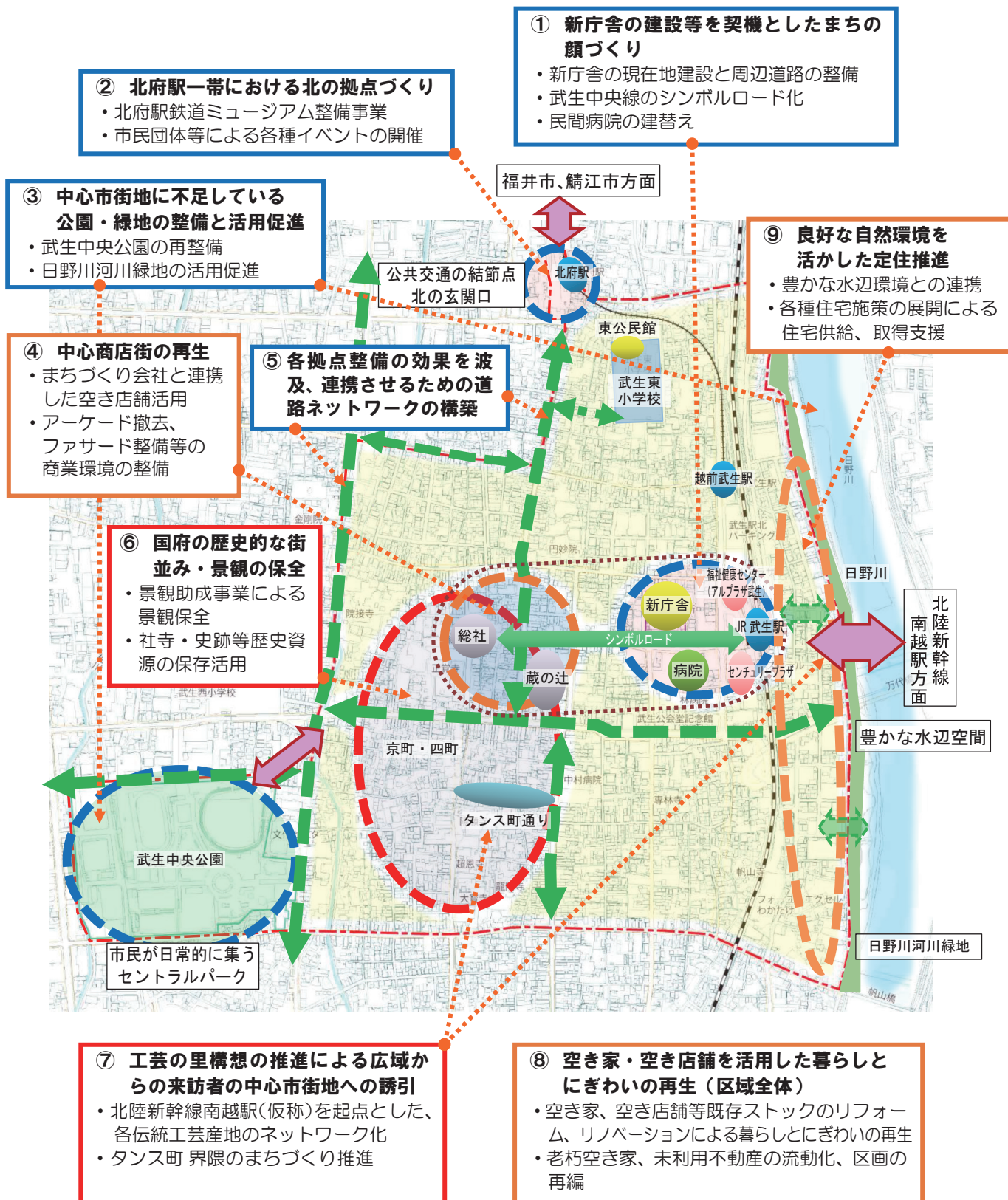


中心市街地の歴史的観光資源
左から
総社大神宮の祭り
蔵の辻
タンス町通り

<期待する効果>

- ①北陸新幹線南越駅(仮称)開業効果の中心市街地への波及
- ②観光・商業関係者等の連携

【中心市街地活性化の戦略方針図】



3 第3期計画の概要

5 第3期計画における主要な事業

■ 主要事業① 新庁舎建設事業(交流施設)

実施時期:平成26～32年度

- 本庁舎は、シンボル性やアクセス性に配慮し、「四方正面」の考え方により建設を計画しています。また、あらゆる災害に対応する防災拠点機能に加え、市民利用機能としての交流施設や広場を併設し、市民が利用しやすく多くの人が賑わう「オールインワン型庁舎」として計画しています。



■ 主要事業② 武生中央公園再整備事業

実施時期:平成26～30年度

- 平成26年3月に策定した「市のセントラルパークとして、老若男女が、憩う・遊ぶ・見る・学ぶ・楽しむことのできる空間の形成」を整備方針とする再整備基本計画に基づき、平成30年の完成を目指し整備を進めます。
- 平成30年開催の福井国体のフェンシング競技とソフトテニス競技の会場となっていることから、老朽化した体育館の建替えとテニスコートの改修を行うとともに、公園全体の再整備を行います。



■ 主要事業③ 北府駅鉄道ミュージアム整備事業

実施時期:平成32～33年度

- 北府駅構内には、福井鉄道の歴史に触れることのできるギャラリーがあり、また駅前には電車がモチーフの案内板等が設置されるなど、駅全体が親しみもてる博物館となっています。今後は、これらに加えて、貴重な鉄道文化財である、福井鉄道の200形車両を北府駅周辺に保存展示するなどの整備を行い、北府駅一帯を鉄道ミュージアムとして整備します。



■ 主要事業④ 工芸の里構想推進事業

実施時期:平成29～31年度

- 越前和紙、越前打刃物、越前筆筒の3つの伝統的工芸品が集積する越前市において、本市の特性を活かし伝統工芸の振興策について新たな方向性を示すとともに、3産地の連携による交流人口の拡大を図ります。中心市街地では伝統工芸の産地としての魅力向上のために、クラフトツーリズム事業やクラフトマーケット事業等を展開します。



■ 主要事業⑤ 商店街活性化プランに基づく一連の事業

実施時期:平成28～33年度

- 平成28年2月に、まちなかの商店街がまちづくり武生(株)との連携により、商店街活性化プランを策定しました。
- 商店街活性化プランに基づき、民間事業者が主体となった活性化事業を展開します。

